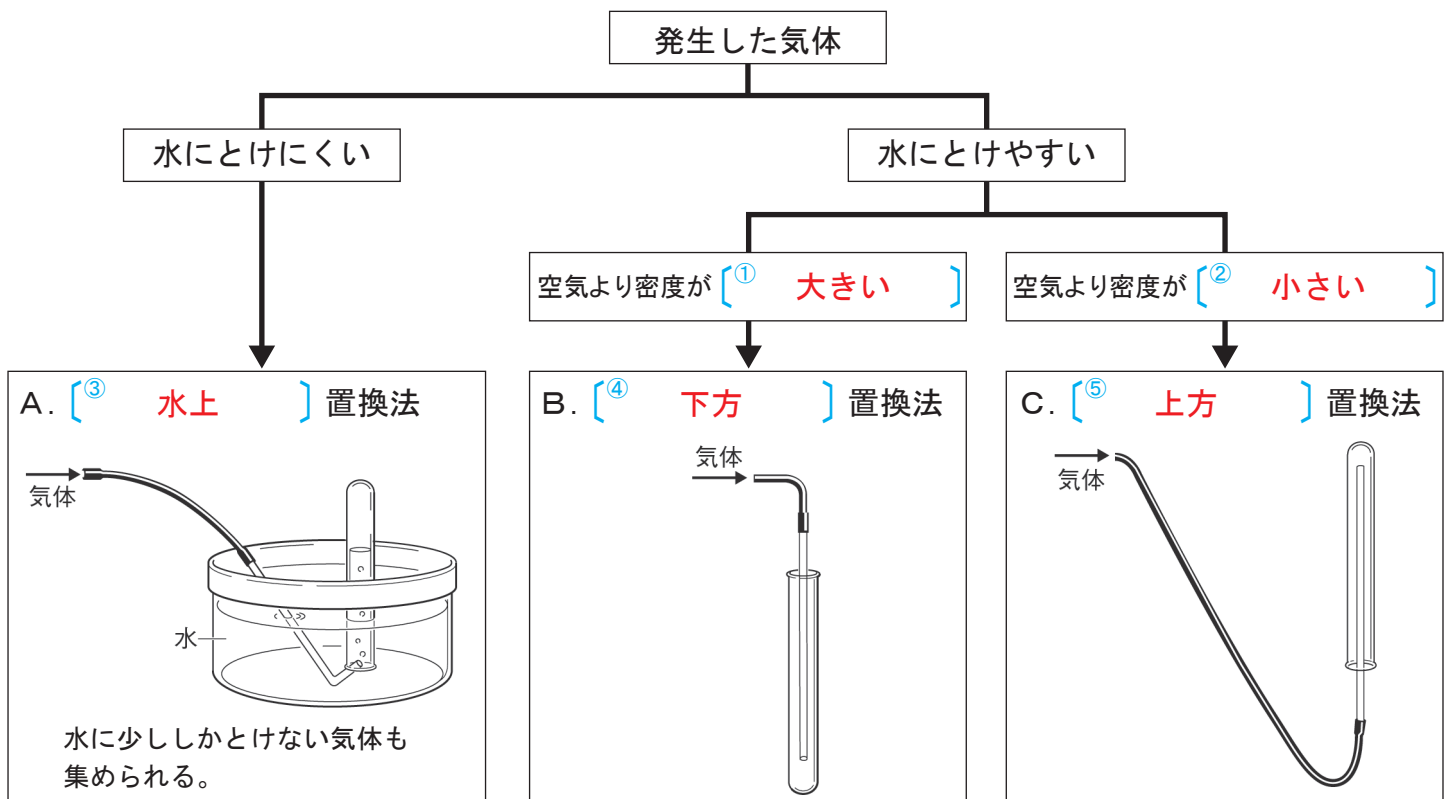


気体の発生と性質 (1)

【1】次の文章の () に当てはまる言葉を書か、○でかこみなさい。

- 気体には、水にとけやすいものと、とけにくいものがある。また、空気より (① **みつど 密度**) が大きい(重い)ものと、小さい(軽い)ものがある。
- 水に (とけやすい・**とけにくい**) 気体は水上置換法すいじょうちかんほうで集められる。空気より①が (**大きい**・小さい) 気体は下方置換法かほうちかんほう、(大きい・**小さい**) 気体は上方置換法じょうほうちかんほうでそれぞれ集められる。
- 酸素の中に火のついた線香を入れると、激しく燃える。これは酸素に (**ものを燃やす**・それ自体が燃える) はたらきがあるからである。
- 二酸化炭素には石灰水せっかいすいを (② **白く**) にごらせる性質がある。
- アンモニアに水でぬらした赤色のリトマス紙をふれさせると、青色に変化する。これは、アンモニアが水に溶けると (酸性・中性 **アルカリ性**) を示すからである。
- 発生した気体のにおいを確かめるときは、保護メガネをかけて、容器を顔に近づけ過ぎず、 (**手であおいで**・直接) かぐ。

【2】図を見て、以下の問題に答えなさい。



- 図の [] に当てはまる言葉を書きなさい。
- 二酸化炭素は水に少しとけ、密度は空気の1.53倍である。二酸化炭素を集めるのに適しているのは図のA～Cの集め方のうちどれか、当てはまるものをすべて記号で書きなさい。

答え (**A、B**)